

環境マネジメントシステム

国際規格(ISO14001)に基づく環境マネジメントシステムの構築・運用に取り組んでおり、その認証取得目標は次のとおりです。

製造工場は1997年度末まで(全11工場認証取得完了:1997年12月)

主要な開発およびサービス関連の事業所は2000年度末まで(4事業所認証取得完了:2000年3月)

なお、環境マネジメントシステムは、グループをあげて取り組む必要があるため、国内はもとより海外の関係会社*1の認証取得目標も定めています。

主要な国内・海外の関係会社は1999年度末まで(67事業所)*2

*1. 関係会社: 連結子会社および持分法適用会社

*2. 主要な国内関係会社の認証取得事業所数を、1998年度に比べ2事業所増やし、それに伴い目標年度を1999年度末としました。

外部認証の取得実績

開発・サービス事業所

1999年度は、目標の2事業所において認証を取得しました。これにより、4事業所において認証取得が完了し、1年前倒しで目標を達成しました。

館林システムセンター 2000年 3月

川崎地区*3 2000年 3月

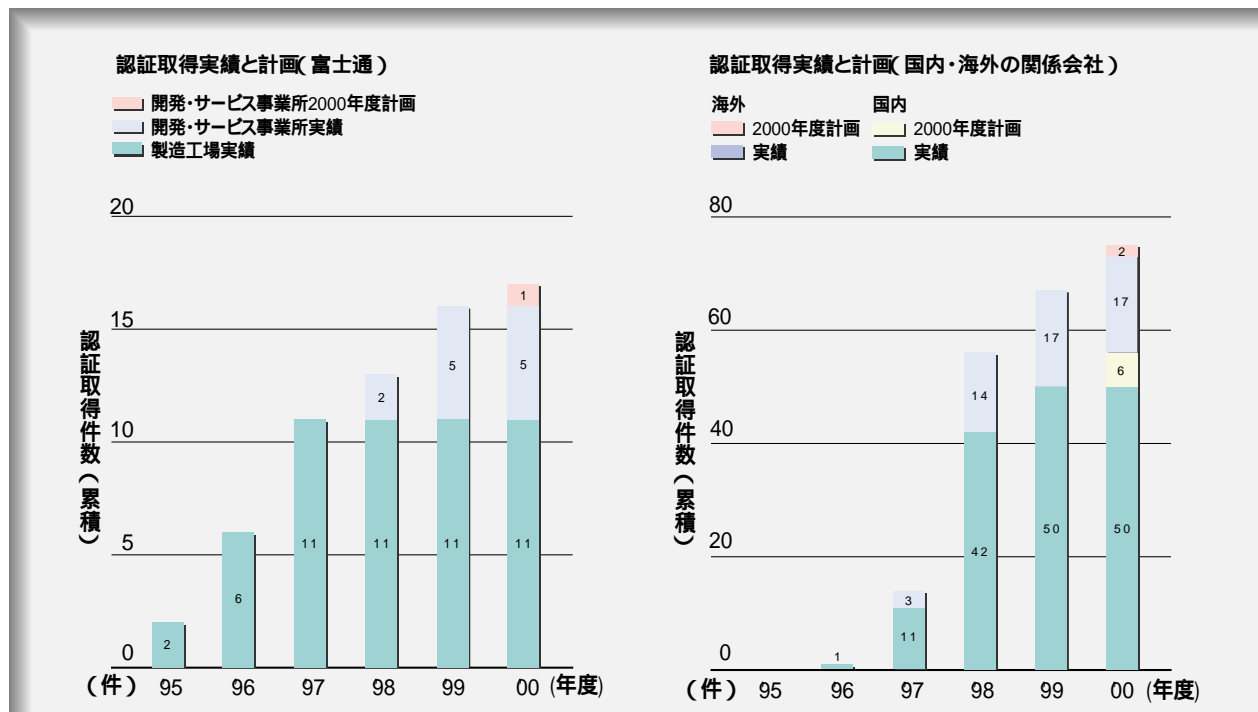
また、認証取得済事業所(13事業所)については、サーベイランス審査において計36件の指摘事項がありましたが、すべて改善を行いました。

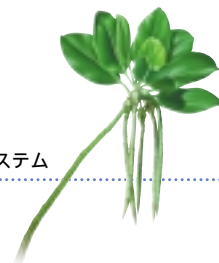
さらに目標外としても西日本営業本部で認証を取得しました。
西日本営業本部(富士通九州R&Dセンター内) ... 2000年 2月

関係会社

1999年度は、目標の国内8事業所、海外3事業所において認証を取得しました。これまでに国内・海外合わせて、計67事業所(国内50事業所、海外17事業所)で認証を取得し、目標を達成しました。

*3. 川崎地区: 川崎工場、中原ビル、小杉ビル、武蔵小杉タワープレイス、SSIビル、末長分室、クロスカルチャーセンター、富士通川崎病院、富士通研究所で構成。





国内関係会社

アドバンテスト(行田R&Dセンター).....	4月
富士通九州通信システム	6月
新光電気工業(若穂).....	7月
富士通ロジスティクス(東京物流センター)...	12月
富士通エフ・アイ・ピー	12月
アドバンテスト(仙台研究所).....	2月
富士通サポートアンドサービス	3月
富士通コワーコ	3月

海外関係会社

富士通ネットワーク・コミュニケーションズ (アメリカ)	4月
アムダール(アメリカ).....	9月
富士通コンピュータ・プロダクツ・オブ・ベトナム (ベトナム)	9月



川崎地区の審査風景

主な活動内容

製品設計、研究開発の中核である川崎地区で、環境に配慮した製品設計および研究開発成果の創出に取り組みました。これにより、研究・開発および設計段階から製造段階において、環境に配慮した活動を推進しています。内部環境監査員教育を11回行い、計219名の監査員を育成しました(登録内部環境監査員累計573名)。内部環境監査を実施し、延べ1,120件の指摘事項をすべて改善しました。工場・事業所ごとの環境マネジメントシステムおよびパフォーマンスのレベル合わせと、効果のあった改善事例を他拠点に水平展開を行い、総合監査のトライアルを13拠点で実施しました。あらゆる緊急事態を想定した訓練を計163回行いました。資材、物品の取り引き先657社、用役・サービスの取り引き先414社の計1,071社に対し、当社の環境活動への理解と協力をお願いしました。

グループ全体を対象にした活動内容

さらなる環境意識定着化のための講演会実施
(計11回、626名参加)
構築、運用ノウハウの水平展開のための交流会の実施
(計1回、49名参加)
情報共有化のためのイントラネットによる共通情報の発信
(規定・啓発計51回)

2000年度の主な実施計画

ISO14001 認証取得計画

開発・サービス関連事業所(1事業所)

厚木テクニカルセンター

国内・海外関係会社

日本電業
新光電気工業(更北)
米子富士通
富士通電装(本社)
富士通イー・エム・ディ・セミコンダクタ
高見澤電機製作所(宮崎テック)
FKL同和(韓国)
富士通コンパウンド・セミコンダクタ(アメリカ)

環境マネジメントシステムの向上

2001年度に予定している全社統合認証取得に向けて、総合監査による工場・事業所間のレベル合わせ、パフォーマンス把握および情報のリアルタイム管理を推進していきます。